

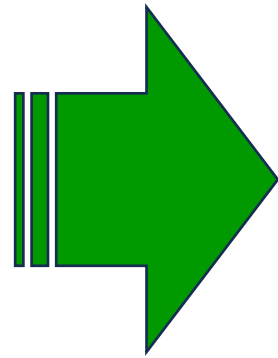
善政競争

中央集権

抽象的公約

議会对策

追認機関



地方分権
マニフェストの広がり

二元代表制
首長と議会の位置づけ

チェック機関だけでなく
政策立案・条例制定

マニフェストとは

抽象的
何でもあり
の選挙公約



明確なビジョン

選択集中で

政策絞り込み

具体的手法・実施時期
財源・数値目標・工程

住民の関心、就任後の実施評価、政策本位の選挙

古賀市におけるマニフェスト

政策集
選挙公約

～2022年11月20日
無投票

所信表明
公約＋7項目

2022年12月6日～
市長選後初の定例会

施政方針
2023年度予算

2023年2月28日
2期目初の当初予算

アクションプラン
2022年度～2025年度

アクションプラン
2023年度～2026年度

第5次総合計画基本構想 2022年度～2031年度

落とし込み
整合性

各施策に連番
全部で120項目

熊本市
大西市長のマニフェスト

1. 暮らしに安心と潤いのある社会の実現

(1) 子育て

001. 少子高齢社会において、子どもはこれからの社会を担う大切な宝です。令和5年度には「こども局」を新設し、これからの活力に満ちた社会を実現するために子どもを核としたまちづくりを進めます。具体的には、マイナンバーカードを活用し、子ども医療費の高校3年生までの支援拡充に取り組む他、社会経済状況の変化に対応して柔軟に保護者負担を軽減できる仕組みを創設します。例えば、子育て世帯への支援策として、満1歳までのオムツ費用、第二子以降の保育料・副食費、給食費の負担軽減に取り組みます【任期中実現】

002. 新型コロナウイルス感染症の拡大で明らかになった貧困や孤立への対策、そして、コロナ禍で失われた地域のつながりや安心を取り戻すため、これまであった「子ども食堂」を発展させ、自治会や子ども会と補完しあいながら地域の集いの場づくり等を行う。「新たな子ども食堂」の積極的な支援に取り組みます。【任期中実現】

003. 質の高い保育の実現のため、保育士を志す人材のモチベーションを高めスキルの上昇を図る研修に取り組みます。また、これらに必要な奨学金制度を導入するとともに、保育の職場環境の改善に取り組みます。【継続拡充】

実施時期明記
任期中実現
着手
継続中
継続拡充

マニフェストの達成状況（全130項目の評価）

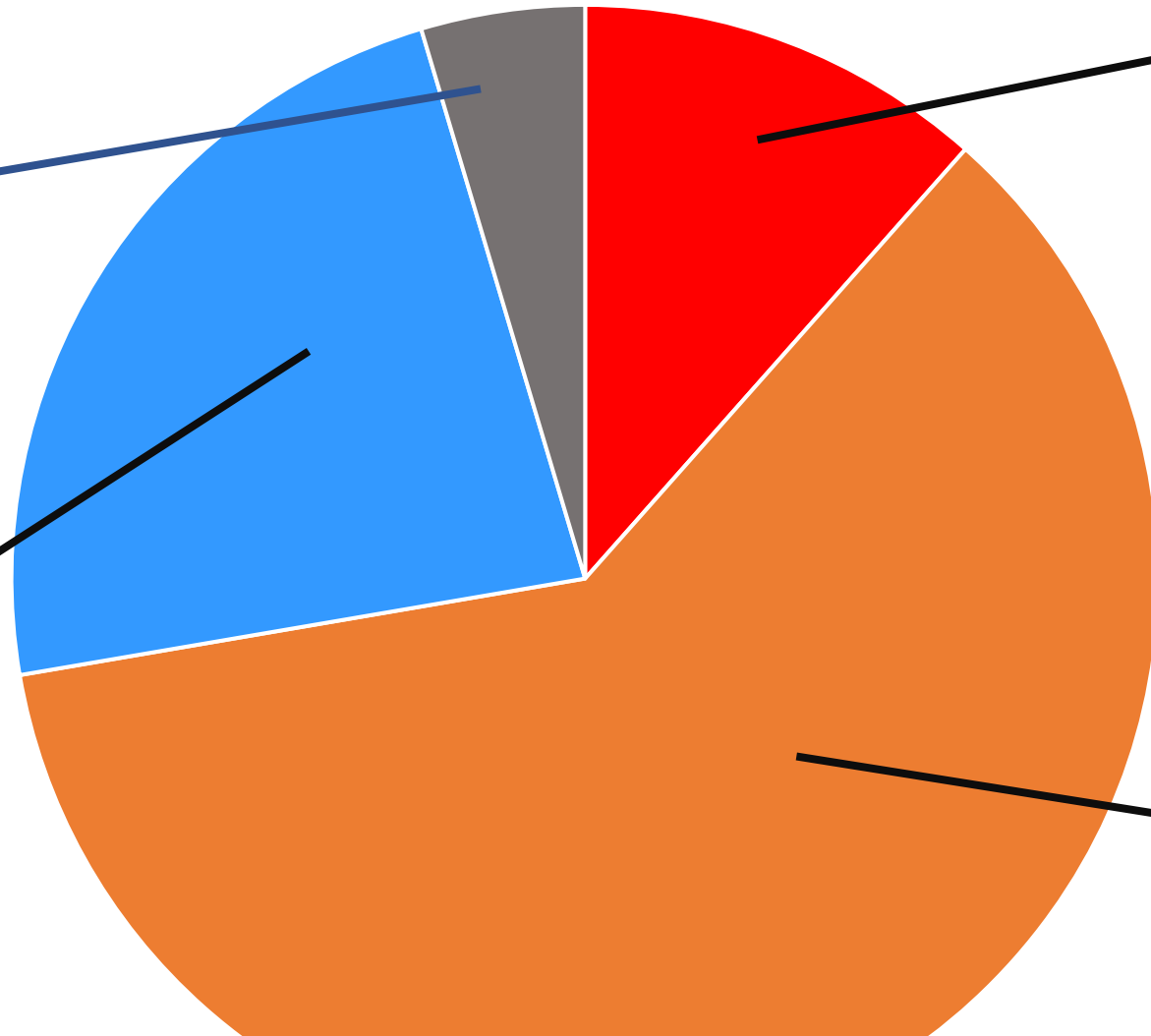
実現が困難
6項目
4.6%

実現
15項目
11.5%

目に見える
形で成果が
ない
30項目
23.1%

概ね成果が
認められる
79項目
60.8%

熊本市
大西市長のマニフェスト



マニフェスト サイクル

ACTION

マニフェスト
作成

PLAN

実施計画
落とし込み

体制づくり

Do

具体的事業
実行

実行の推進

CHECK

自己評価
住民検証

評価検証
マニフェスト修正

計画の
改善
補完

マニフェストの評価・検証

進捗
数値

予算額

今後の
スケジュール

各部署
回答

課題
抽出

A	高く評価できる	22.5%
B	おおむね評価できる	61.7%
C	部分的には評価できる	13.3%
D	あまり評価できない	2.5%
E	評価できない	0.0%

提言

田辺市長の所信表明 (マニフェスト)

誰もが健康で安心して
暮らしていける
地域社会をめざします。

超高齢社会に対応し、全世代型の健康づくり・介護予防、地域福祉を推進します。地域や学校、企業、市民団体と連携し、健康チャレンジ10か条やヘルス・ステーションの普及促進、特定健診やがん検診の受診勧奨に取り組み、市民一人ひとりが自らの健康を意識できる環境をつくります。

熊本市の大西市長の マニフェスト

(3) 健康・医療・ 介護

055. 人生百年時代を迎え、誰もが健康で文化的な生活を送ることができるよう、**健康ポイント事業の拡充**に加え、**新たに50歳代など早い段階からの運動習慣の定着**を図り、楽しみながらできる介護予防や、**がん検診の無償化の拡大**に取り組みます。

また、**健康福祉分野のDX**に積極的に取り組み、健康福祉行政の効率性をさらに高めます。【任期中実現】

056. 熊本市における**子どものむし歯有病者率**（1歳6か月時、3歳時）は、指定都市中最も悪い状況であることから、各種関係団体と連携を図り、むし歯予防に有効であるフッ化物を活用した事業等を推進し、指定都市最下位からの脱却を図ります。【任期中実現】

ぬま健司の
マニフェスト

健診・予防の徹底による
健康づくり

- ② 小中学生や 16 歳～ 29 歳の
若者特定健診（実現）
- ③ がん検診一部自己負担ゼロ、
前立腺がん検診項目追加、
心臓・脳ドック勧奨（実現）

塩分摂取量が過剰となっている可能性が増大

成人の半数は減塩を意識していない

